

「加茂街道 幻の大仏鉄道遺跡と石仏の里を歩く」活動報告

担当 6 班

【実施日時】 2021 年 10 月 29 日（金） 【天候】 快晴

【参加者】 71 名 【集合場所】 JR 加茂駅前東公園

【集合時間】 午前 9 時 40 分

【行程】 JR 加茂駅 10 時出発→SL 展示→道標石仏→二本松→高田寺夜遊び地蔵→大仏鉄道
観音寺橋台→小橋台→鹿背山橋台→梶ヶ谷遂道→赤橋→大仏記念公園（昼食 班長会議）
→鹿背山不動→観音寺石仏→大念寺→残念石→JR 加茂駅（各班ごとに解散 15 時 30 分）

秋晴れの天気恵まれ、今回はボランティアガイドさんに案内していただくため、くじ引きで 4 班に分かれ密を避けるため、時間差を設けて出発しました。

今から 100 年以上前、「大仏鉄道」が走っていました。明治 31 年に開通するもわずか 9 年で幕を閉じた加茂奈良間を結ぶ大仏鉄道遺跡を「ふるさと案内かも」のボランティアガイドさんが熱心に案内して下さいました。

観音寺橋台では大仏線と片町線（現在の和歌山線）が平行していて、説明を聞いているときに電車が来るという幸運に恵まれました。立派な石垣が残っていて明治の石工さんの気配が感じられ、梶ヶ谷遂道ではトンネルのアーチはイギリス積みレンガ、側壁は御影石の作りで美しく贅沢な作りでした。赤橋も梶ヶ谷遂道と並んで代表的な大仏鉄道遺構だそうで、赤いレンガ作りが見事な橋でした。このような遺構を残してたった 9 年間で幕を閉じた大仏鉄道を偲んだ秋の一日は実りあるものでした。



梶ヶ谷遂道



赤橋



残念石

大仏線と大和路線

【一口メモ】

- ・大仏鉄道を知らなかったのですが遺跡をたどりながら昔の歴史に思いをはせ、タイムスリップしました。
- ・今日みたいな班の分け方もすごくよかった。人との交流的に名案です。
- ・9 年間の幻の大仏鉄道について熱く語るボランティアガイドに感動し、郷土（加茂町）へ愛を感じました。
- ・今日は暑くも寒くもなく気持ちよく歩くことができました。時間もうまく調整できたと思います。